

(様式 1-3)

福島県楡葉町 既存ストック活用まちづくり事業計画に基づく事業等個票

令和元年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	楡葉町内既存ストック調査事業	事業番号	A-1-1
交付団体	楡葉町	事業実施主体	楡葉町		
総交付対象事業費	10,305 (千円)	全体事業費	10,305 (千円)		
事業概要					
○事業の概要 繁岡、営団、上井出、下井出、北田、上小埜、下小埜、山田岡の宅地が密集している地区において、空き地・空き家等の現況の把握及び所有者特定のための調査を行うとともに、その現況の調査及び利活用の考察を行うことで、今後どのような取り組みに展開できるかを調査する。 ○既存ストック活用まちづくり支援事業計画と復興・まちづくり計画との整合性（実施要綱第 4 の 6 の一） ※復興・まちづくり計画の該当箇所を添付してください。 <楡葉町復興計画<第二次>第二版> ・第三章 2 2-1) (1)復興に伴う新規流入人口の受け入れ (p49~50) ・第三章 2 2-3) (1)連携・交流促進の仕組み・機会づくり (p56~58) <楡葉町まち・ひと・しごと創生総合戦略> ・第 4 節 基本目標 1 方針 1-2)企業誘致に必要な就労者の確保 (p11~12) ・第 4 節 基本目標 2 方針 2-3)宿泊受け入れの体制づくり (p19~20) ・第 4 節 基本目標 2 方針 2-4)積極的な移住支援 (p21~22) ・第 4 節 基本目標 4 方針 4-2)楡葉ならではの生涯教育 (p31~32)					
当面の事業概要					
<令和元年度> ・繁岡、営団、上井出、下井出、北田、上小埜、下小埜、山田岡の宅地が密集している地区における空き地・空き家等の現況の把握及び所有者特定のための調査を行う。(今回申請)					
空き地・空き家等の既存ストックの状況及び地域の帰還環境整備との関係					
【共通】 ○空き地・空き家等の既存ストックの状況 現在繁岡、営団、上井出、下井出、北田、上小埜、下小埜、山田岡の宅地が密集している地区には、避難や環境省の家屋解体等による空き地・空き家等になっていると思われる既存ストックが点在しているが、その現況を把握し今後の利活用の考察を行うことで、今後どのような取り組みに展開できるかを調査する。 ○地域の帰還環境整備との関係 当町では一般社団法人ならはみらいへの委託事業として、早期の生活再建に向けて空き家・空き地を有効活用する取組を行っており、同調査を行うことで町内の既存ストックを有効に活用した、さらなる町内の地域活性化の可能性を探る。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	